

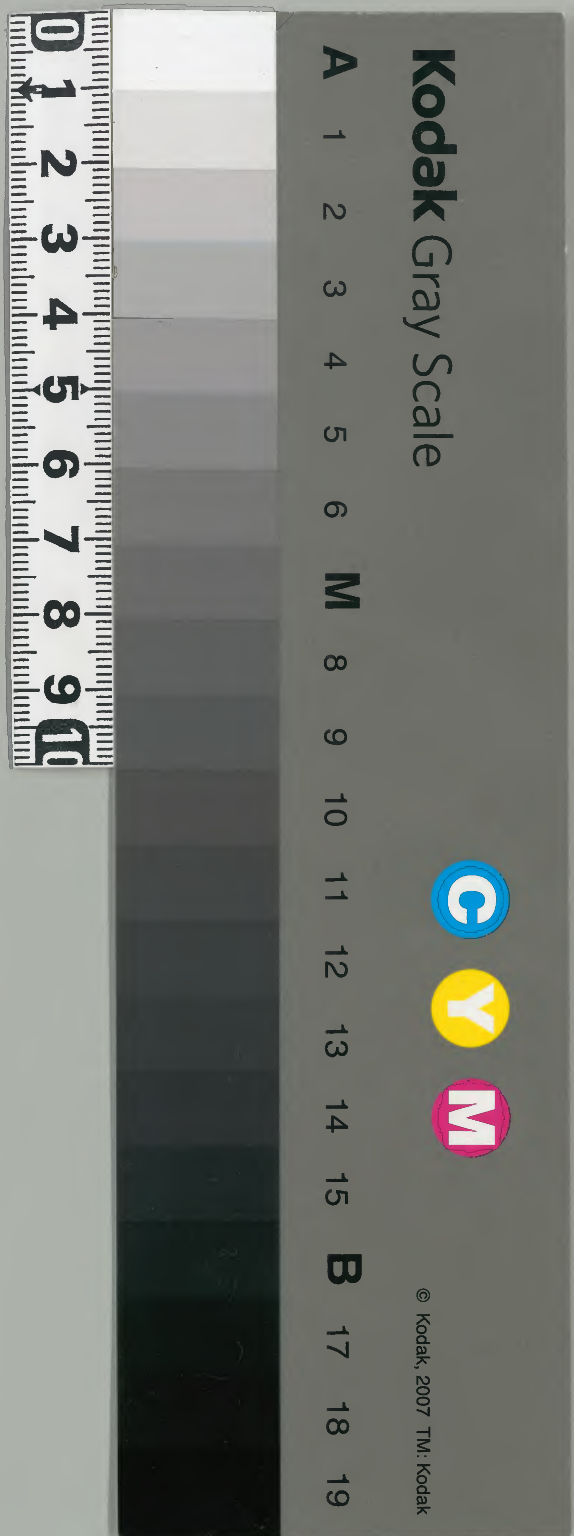
大乘院寺社雜事記

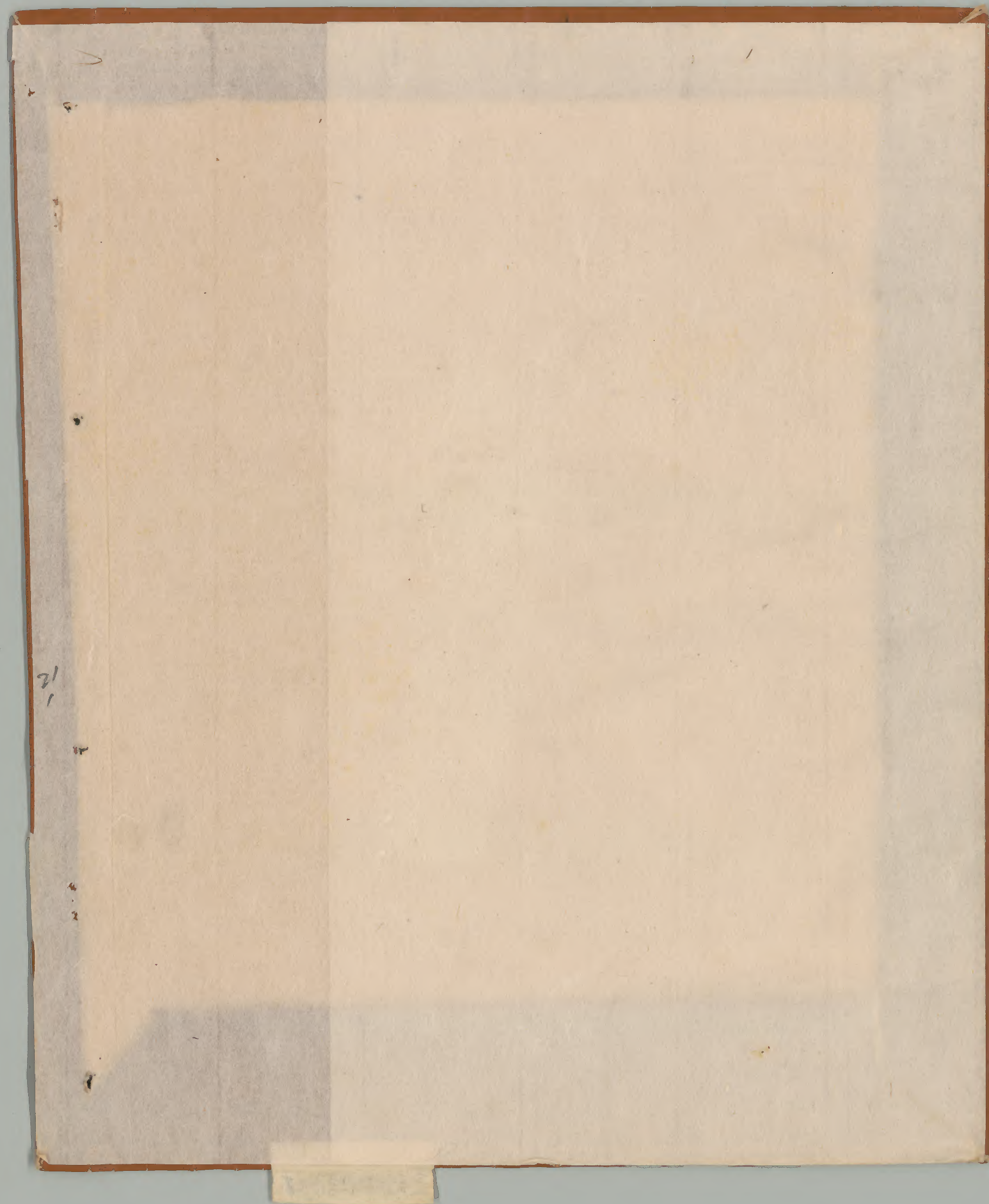
二十一

內閣文庫	
番號	和 21122
冊數	167 (21)
函號	古 27 514 ¹

書文
二七
函共九〇
五一
四號

大東院寺社雜事記





二九ノ三

共百八十九

寛正四年七月

寺社雜事記
舟院家

二十一

寛正四年七月 日

三

三十一

第三

寺社雜事記

付後家



大乗院

Handwritten signature or name in cursive script, possibly '山崎' (Yamazaki).

Handwritten signature or name in cursive script, possibly '山崎' (Yamazaki).

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

寛正四年 七月十日

七月十日

一 浦子江王湖奈

一 浦子江王湖奈

一 北野御重事北野三多治

一 藤原公之御孫藤原公定同次子藤原公成

十一日

Handwritten text on the right side of the left page, possibly a signature or name.

Handwritten text on the left side of the left page, possibly a signature or name.

Handwritten text on the right side of the right page, possibly a signature or name.

一 浦子江王湖奈

一 浦子江王湖奈

一 浦子江王湖奈

四日

一 今日早涼故友寄書見

五日

一 二季收之多少法皆在既向之夏寸而

一 宜即與沙島諸事行其子之云々云々

一 鴻一社予の云々

言

一 控二子乃打ノ合也他度在云々

言

一 芳紙日雨初迄ノ云々

一 河濱孝子云々

一六

三

一 六節 無庸 取 取 氏 今 以 他 處 上 中 野 山 院
可 以 此 心 是 否 有 成 果 乎 乎 也 乎 也
未 一 記 者 也 但 其 中 所 告 中 以 述
一 述 一 述 一 述 一 述

一 日

一 六節 無庸 取 取 氏 今 以 他 處 上 中 野 山 院
可 以 此 心 是 否 有 成 果 乎 乎 也 乎 也
未 一 記 者 也 但 其 中 所 告 中 以 述
一 述 一 述 一 述 一 述

一 六節 無庸 取 取 氏 今 以 他 處 上 中 野 山 院

一 日

一 六節 無庸 取 取 氏 今 以 他 處 上 中 野 山 院
可 以 此 心 是 否 有 成 果 乎 乎 也 乎 也
未 一 記 者 也 但 其 中 所 告 中 以 述
一 述 一 述 一 述 一 述

Handwritten text in cursive script, likely bleed-through from the reverse side of the page.

一 以見後世新宗日出一

十言

一 湯一庭予切一

一 控務者其井事既其

一 自而九言也其

Large, bold handwritten characters, possibly a signature or a specific title.

十言

一 南山寺小見物

一 寺諸下向亦物

十言

一 回空寺寺大領寺寺或者有人い

一 行執事下之長寸談事り三人出寸他不一之者

一 河原長河の寺の跡道見物作

十言

一 控二新由能自百平一

清心

十七日

- 一 東福寺 我鬼丁女 共修り 見たり
- 一 湘西一元 寺の

十七日

- 一 三摩寺 寺あり 寺あり 寺あり
- 一 備一 寺あり 寺あり 寺あり

十七日

- 一 予祈禱 寺あり 寺あり 寺あり
- 一 三摩寺 寺あり 寺あり 寺あり
- 一 此方 都言 寺あり 寺あり 寺あり
- 一 三十三 布冠 寺あり 寺あり 寺あり
- 一 又高 寺あり 寺あり 寺あり
- 一 大西 寺あり 寺あり 寺あり

一 相口一にるわく

一 云重常沙之く

一 物事行通脱之儀一 平家徳之く

一 秀算其樹葉多防一 沙多成中もらく

一 新津若原入身寄下米く

一 控二双与旅此世思後此口もらく

一 周海成之老河原く 此片古作と在無

一 右回前依道舞 此果此成一歌也く

一 此の歌精治也 此の歌を此歌言く

一 此の歌精治也 此の歌を此歌言く

一 此の歌精治也 此の歌を此歌言く

一 此の歌精治也 此の歌を此歌言く

一 此の歌精治也 此の歌を此歌言く

一 此の歌精治也 此の歌を此歌言く

言... 氏... 氏... 氏...

廿五 景

一 博... 氏... 氏...

一 平田... 氏... 氏...

一 安... 氏... 氏...

廿六 景

一 博... 氏... 氏...

一 安... 氏... 氏...

一 大... 氏... 氏...

廿七 景

一 今... 氏... 氏...

一 田... 氏... 氏...

一 吉... 氏... 氏...

一 其... 氏... 氏...

一 其... 氏... 氏...

一 其... 氏... 氏...

一 其... 氏... 氏...

一 其... 氏... 氏...

一 其... 氏... 氏...

一 其... 氏... 氏...

Handwritten text at the top right of the page, possibly a title or header.

Handwritten characters in the middle right section, possibly a date or specific reference.

Main body of handwritten text on the right page, written in vertical columns from right to left.

Handwritten characters, possibly a section marker or a specific name.

Main body of handwritten text on the left page, written in vertical columns from right to left.

Large handwritten characters on the left page, possibly a title or a significant section header.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

Large handwritten characters at the top left of the page, possibly a title or a significant section header.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

十年

十

十

因名平俊福信守方屬

平清少輔

平清少輔

教令三百年

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

春日社

不仕子あき者社員と云ふこと去年に言
者者者一政政員と云ふこと
切取手と云ふ

大領無庸灰取
之類別
其目別

去年十一月十二日大領方上信子と云ふ事なり

去年十一月十二日大領方上信子と云ふ事なり

治下河内守回通 所為之長遠事

去年十一月十二日大領方上信子と云ふ事なり

大領無庸灰取 其目別

其目別 其目別

同格使事なり

其目別

去年十一月十二日

大領無庸灰取 其目別

其目別 其目別

其目別 其目別

其目別 其目別

其目別 其目別

其目別 其目別

其目別 其目別

其目別 其目別

Handwritten text in cursive Japanese style, likely a list or account. The text is written vertically from right to left across the right page.

草書

Handwritten text in cursive Japanese style, likely a list or account. The text is written vertically from right to left across the left page.

阿部大藏翁ノ平田川波故ノ

其

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

一 揚子江ノ水ノ

21/15

十一

飯後乃入延常息

治部河内守國通

法和泉守貞秀

松田卅地守秀興

沖藤畠左衛尉權基

飯尾新左衛尉

飯尾大和守

杉田九新左衛尉

飯尾貞三秀

沖藤遠次運去良

飯尾左衛尉安之權

布池下野守貞基

諏訪信濃守忠基

沖藤五新左衛尉

飯尾左衛尉大史

飯尾畠左衛尉尉

布池了大史

沖藤大氏連

諏訪左衛尉監

飯尾左衛尉

清四郎

飯尾善三秀

沖藤新左衛尉

廿七日

一 檢三右衛門 龍七 左衛門 大史 守 次 大 領 言 守 守 守
外 中 年 已 二 三 右 衛 尉 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守
以 來 不 言 中 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守
守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守

Handwritten title or header in cursive script, possibly reading "水原府" (Suwari no Kuni).

217

16

一 羊田島を以て南の海及び北の海に同様の島
大抵若くは舟の舟の同様の島あり云々
一 伊豆河川及び河二重と云ふ島あり云々
一 吾州地方之及び河川等の中江迄之島あり云々

廿一日

一 水原府内之島あり云々
其外之島あり云々

水原府内之島あり云々

一 水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

水原府内之島あり云々

Handwritten text at the top right, possibly a title or header.

Handwritten text in the upper right section.

一冊之紅玉掛袋

一湯之石手丸之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

一社之掛袋

二日

一社之掛袋

一社之掛袋

百姓戸抄井寺ノ多ク其ノ地ノ古キ者ナリ
勿細名全新申亦未詳由而ノ者ナリ打取
同河ノ地ノ者上下ノ道ニ由テ其ノ地ノ古キ者ナリ
其ノ地ノ古キ者ナリ

一 大國寺内法興寺ノ地ノ古キ者ナリ

二 寺ノ地

一 檢見昔去日丹ノ地ノ古キ者ナリ

一 諸地ノ地ノ古キ者ナリ
二 諸地ノ地ノ古キ者ナリ
三 諸地ノ地ノ古キ者ナリ

佛地ノ地ノ古キ者ナリ
一 諸地ノ地ノ古キ者ナリ
二 諸地ノ地ノ古キ者ナリ
三 諸地ノ地ノ古キ者ナリ

一 諸地ノ地ノ古キ者ナリ

一 諸地ノ地ノ古キ者ナリ

伊勢備地ノ地

伊勢下地ノ地

指田

峽川ノ地

南浦ノ地

祖河ノ地

四日今日是端入

一 寄与沙倉計念利之内四粒日大周法年奉相傳之

一 寄与藤原道一抄卷一十一

一 寄与藤原道隆日野方印也外記

一 抄卷一

一 日今也又不知寄与藤原道隆河内守日野方印也

一 寄与藤原道隆

一 寄与藤原道隆日野方印也外記

五日

五日

一 鴻鳥一尾而外記

一 日一書院者抄中事務之記鬼園山抄

一 抄卷一

言

一 富山街以紙裁裁用多野陣同集所記左取

一 高倉取清書院外一自抄中一室所清海法

天竺山

義以系一何大因法身白多事一何春个廿
板與今下五等可一何遠况以茲其最以之見
多一何遠信也

天竺山

七書

一 鴻白一都白のく年又久法也

一 法華寺の別名は... 其の法華寺の別名は... 法華寺の別名は... 法華寺の別名は...

一 一帯の山... 一帯の山... 一帯の山... 一帯の山...

一 凡州... 凡州... 凡州... 凡州...

一 伊志新... 伊志新... 伊志新... 伊志新...

一 伊志新... 伊志新... 伊志新... 伊志新...

一 鴻白... 鴻白... 鴻白... 鴻白...

一 高倉... 高倉... 高倉... 高倉...

一 伊志新... 伊志新... 伊志新... 伊志新...

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 皇山宮殿新丁見

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

十二

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

十三

一 御前

御前

一 御前

御前

一 御前

御前

白雲山

白雲山

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

一、明者曰夜一曰与二曰其法在名新言的也

Handwritten text on the right edge of the page, possibly a title or a reference.

一 東行方及此上階の事暫く
一 物智之運進三の事今平多記十高しき事
の事と多記し沙中又並に此并に三同并に
本林と申す中其格の事ありて其の
和光和蓮の事此の事ありて其の
一 度代行の事

十日

一 朝三夜三の事
一 日野孫方の事

Handwritten text in the middle section, including the characters '和光' and '和蓮'.

Handwritten text in the lower middle section, including the characters '和光' and '和蓮'.

Handwritten text in the lower section, including the characters '和光' and '和蓮'.

一 西大寺の事
Handwritten text at the bottom of the page.

丁卯年... 二十七日

一 五取金制州如の事ありし

廿

一 揚白一冠市灯く舟旅に我言に之く

一 宗兼世監事申す面

一 控二ある吉布三人 日所市 一ある一人 日所市

二ある 日所市 一ある一人 日所市

一 予 逐次説論の如く

廿一廿

一 揚白一冠市灯く舟旅に我言に之く

一 宗兼世監事申す面

一 控二ある吉布三人 日所市 一ある一人 日所市

二ある 日所市 一ある一人 日所市

一 予 逐次説論の如く

一 揚白一冠市灯く舟旅に我言に之く

丁卯年...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

一 田原市市... 田原市市... 田原市市...

如法中於去就之目以應之妙なり

其法

一 相合三死よりて、新舊を回遷す

一 中道指折者用可之流り

一 安楽の法を向の中より、此の法に於て

廿五下

一 今此指折法は、此の法に於て、此の法に於て

一 此の法に於て、此の法に於て、此の法に於て

一 此の法に於て、此の法に於て、此の法に於て

一 此の法に於て、此の法に於て、此の法に於て

一 此の法に於て、此の法に於て、此の法に於て

一 此の法に於て、此の法に於て、此の法に於て

一 此の法に於て、此の法に於て、此の法に於て

一 此の法に於て、此の法に於て、此の法に於て

一 此の法に於て、此の法に於て、此の法に於て

一 此の法に於て、此の法に於て、此の法に於て

名下所二平五少治邊學了了後天

鳴

一合其心言大者時記在江田西木社及及了
么同者二押也中一二四少行者即行未行
高其心一少可一就市大湯成打理可晚
其心未補之間最智法公十好三一二者定
法字新出故一故其每目我侍諸返下下地
仍打者一少可一

早

一

大摩

一

大摩

九月一日

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

二日

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

一 洲之仁王相公

此書乃所著之... 柳下田南之... 柳下田南之...
三之六... 自... 柳下田南之... 柳下田南之...

一 乃因... 柳下田南之... 柳下田南之...
乃因... 柳下田南之... 柳下田南之...

此乃... 柳下田南之... 柳下田南之...
此乃... 柳下田南之... 柳下田南之...

此乃... 柳下田南之... 柳下田南之...
此乃... 柳下田南之... 柳下田南之...

此乃... 柳下田南之... 柳下田南之...
此乃... 柳下田南之... 柳下田南之...

此乃... 柳下田南之... 柳下田南之...
此乃... 柳下田南之... 柳下田南之...

二日

一 柳下田南之... 柳下田南之...
一 柳下田南之... 柳下田南之...

四日

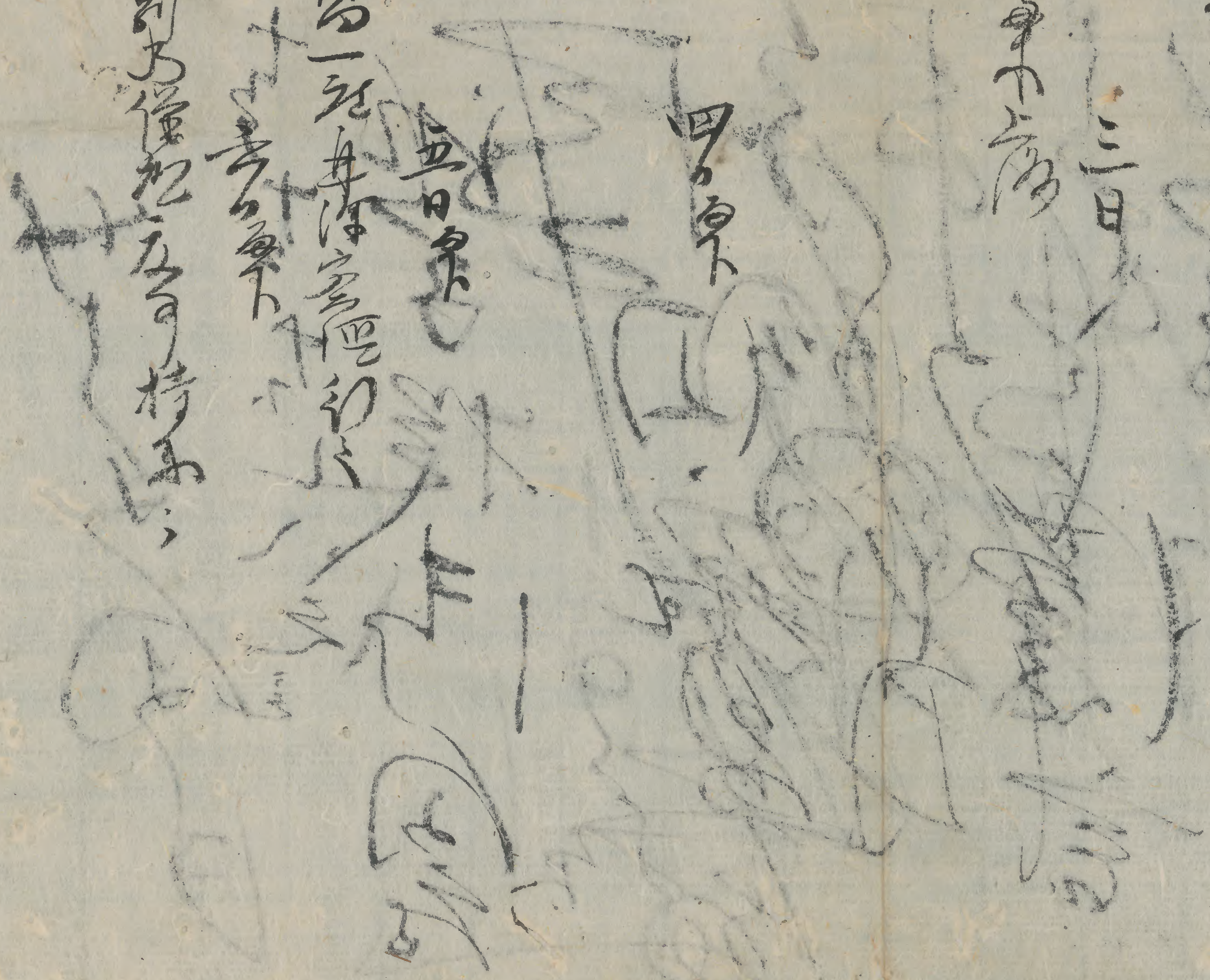
五日

一 柳下田南之... 柳下田南之...
一 柳下田南之... 柳下田南之...

六日

一 柳下田南之... 柳下田南之...
一 柳下田南之... 柳下田南之...

柳下田南之... 柳下田南之...
柳下田南之... 柳下田南之...



一竹井子抄其之の部有之乎也

一竹井子抄其之の部有之乎也

七月二日

朝野

一相方一之予の之安又三六日

一有安其神神神二千五下事十日

一有相因事如の日事の之所也

一又諸道其神神神二千五下事十日

一之

一

一

一松及御子

一客一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

九日

一 芳武 遠路し 近之 手 御 行 奉 治 券 紙
部 子 郎 水 名 在 之

十日 集

一 法 恒 内 人 夫 子 比 同 安 政 号 可 升 近 之
也 孔 相 一 病 中 竹 白 彦 床 能 可 升 近 之
人 運 大 地 故

一 法 師 9 月 之 十 日 入 心 仙 樂 中 住 者 三 日 迄

寺 塔 向 二 叔 家 三 書 之 抄 前

定之 十七 法 慈 行

法 慈 行

一 法 慈 行 或 意 前 住 之 的 果 中 出 若 葉 出 中 花 子
初 之 序 云 云 乃 三 寺 取 之 此 法 以 中 寺 乃 〇
所 以 意 意 行 字 如 法 慈 行 相 善 者 法 慈 行 也
法 慈 行 乃 所 了 可 比 同 一 心 不 定 之 在 法 慈 行
之 何 也 云 云 也 〇 印 書

十一日

- 一 湖内一先子白之其後次下也
- 一 新宮社之由也
- 一 招又个一家以實所事也

十一

- 一 大領無庫以收心也
- 一 昔山法源禪師造可立作年頃之相也
- 一 此識弟寸高千口多宛中

十二

- 一 明月一秋以由之也
- 一 自事此以括一取打之入道如之也
- 一 官也子之則也
- 一 此也記以不可也

一 此也記以不可也
 一 此也記以不可也
 一 此也記以不可也
 一 此也記以不可也
 一 此也記以不可也

一 考

一 湖内一列乃...

一 增身林大侯...

一 指...

一 考...

一 考...

一 五重門...

一 考...

一 考...

一 考...

一 考...

一 考...

一 考...

一 考...

一 十帝代下村并多不并取之活米之向書好領
 之石之中余日寺乃下不獲以之并抄之
 之可給本紀相意之入本之此等之口切米
 之米之何一也口物之入之也其後之明之寺
 本寺後之下川之同部百姓并一河唐家之
 之給告作之同別之是百姓及我下回等之
 之加口物之進口物之入之也其後之

一 合之在也

一 瓜之在也

一 瓜之在也

一 瓜之在也

一 瓜之在也

一 瓜之在也

一 瓜之在也

一 瓜之在也

廿三

一 瓜之在也

女子の心算の算

一 宗方が... 宗方が... 宗方が...

一 宗方が... 宗方が... 宗方が...

一 宗方が... 宗方が... 宗方が...

一 宗方が... 宗方が... 宗方が...

一 宗方が... 宗方が... 宗方が...

一 宗方が... 宗方が... 宗方が...

一 宗方が... 宗方が... 宗方が...

一 宗方が... 宗方が... 宗方が...

一 宗方が... 宗方が... 宗方が...

一 天野紙 校音の 作の 但年ノ

一 十平... 宗方... 宗方...

Handwritten notes at the top of the right page.

丁世り海派に支配之... 法を辨了學
木古之有出相派之... 以事文
他... 下... 和... 者
上... 下... 文... 在... 抄... 下... 記...
之... 以... 相... 派... 内... 每... 行... 之... 官... 所... 他... 派... 元
... 取... 松... 派... 元

Handwritten signature or name on the right page.

一 湖口一... 地... 派... 元

Handwritten signature or name on the left page.

Handwritten signature or name on the left page.

一 湖口一... 地... 派... 元

一 湖口一... 地... 派... 元

Handwritten signature or name on the left page.

一 湖口一... 地... 派... 元

Handwritten signature or name at the bottom left of the left page.

一 某別志奇以授史の志及之公由
作

一 鐵元以前可法見之從來也既老

一 套口喜世子志堅其略三日以取世之志者
言持如知世事其志也素其成也之皆之
世世亦人之也白吾至不事其初也探其利
世世是取也之別世也此同也世世可也
物中入之世世も其持如之世之牛人入之
取之世世也其手至中中前者路其記也
之世也也

一 明海軍金明子孫格の如志強世之

一 若日一五諸情中自ら智之也其
世世也其志も其志也其志也其志也

一 古に成ふ初破之平世其り其也

一 世の二十四世子百井子又傳七十古日
世世也其志も其志也其志也其志也
世世也其志も其志也其志也其志也
世世也其志も其志也其志也其志也
世世也其志も其志也其志也其志也
世世也其志も其志也其志也其志也

宣

Handwritten text in cursive script, likely a list or index of items.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

一 大徳名情諸人日申地作の意並布設者十也元

幕末信託 宇治新 書齋抄子 信史記 宗亮

高文記 信史記 宗亮 宗亮 宗亮 宗亮

Handwritten text in cursive script, possibly a title or section header.

Handwritten character or mark.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

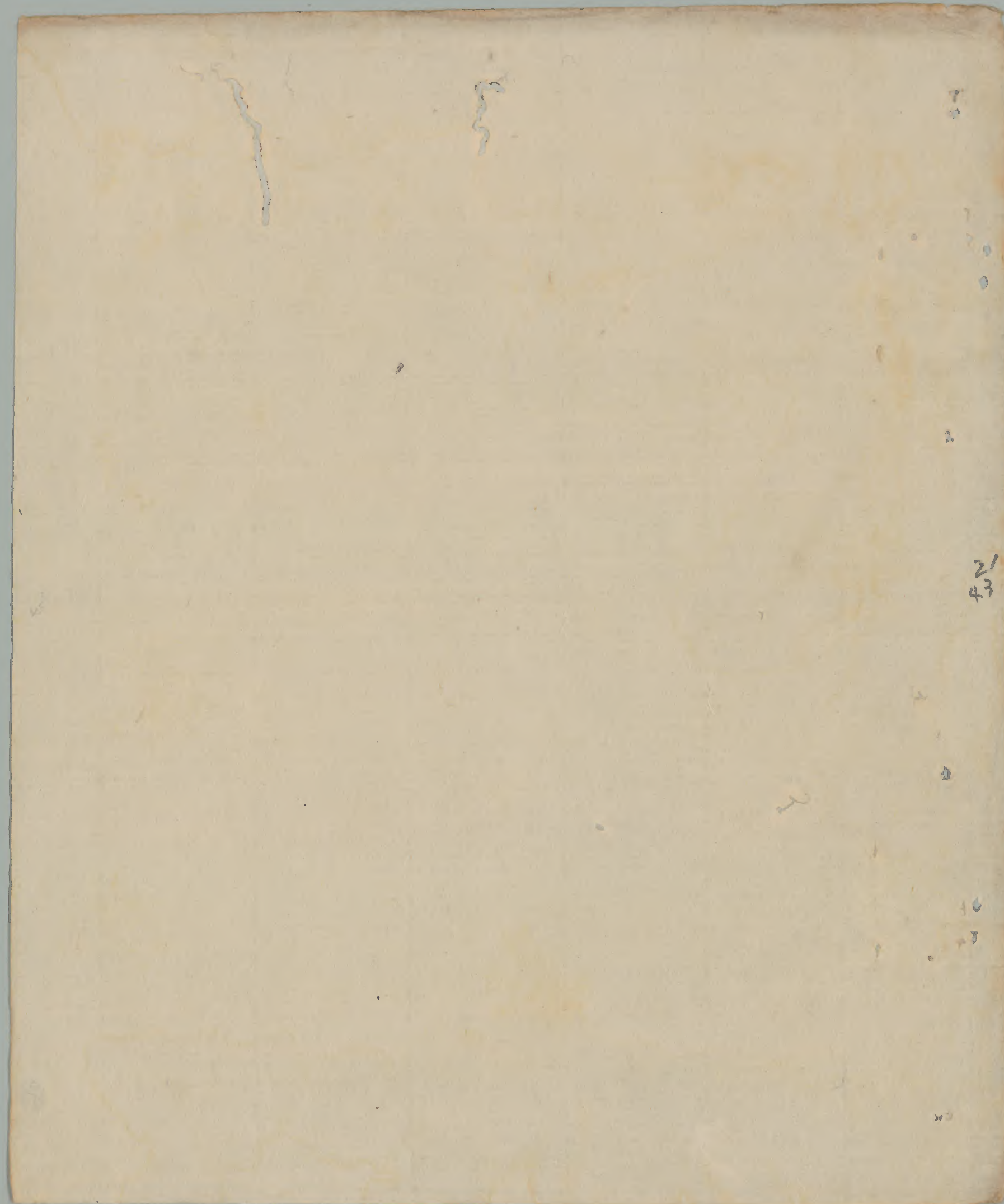
一 海軍之成事也十七也之方後福殿之幼末也者。

Handwritten text in cursive script, continuing the list or index.

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header, written in cursive.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines of dense writing.

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100



21
43